

まるくわ 新報

月間活動報告書 2013年10~12月分【vol.10】

発行：からくわ丸-Karakuwa Designers League 2014.1



力王連合(仮)第30回綱引選手権大会優勝

12月1日、本吉唐桑商工会青年部主催による記念すべき第30回唐桑町綱引選手大会にて、からくわ丸×大沢地区青年部連合「力王連合(仮)」が初優勝を飾った。

全6チームの一般男子の部。優勝候補は、連覇を続ける“玄人の王者”「中成年会」、昨年突如現れた復興支援者による“ダークホース”「チーム海岸亭」。力王連合は予選リーグ初戦でチーム海岸亭に敗れいきなりピンチに立たされるが、決勝トーナメント・決勝戦で再び海岸亭と相まみえることとなる。一方、中成年会は戦力を揃えることができず準決勝で敗退。決勝戦では、サポーターを味方につけた力王が海岸亭に辛勝、30周年記念大会を制覇した。今回の意義は、大沢(同町北半分の小原木地区)勢が久々に出場し、地区を超えた「地元の若者」というくくりでチームを創り、その存在をアピールできたこと。力王連合オリジナルパーカー制作など大沢青年部の皆さんとの一体感を深めることができた。2011年「唐桑ボランティア団」(FIWC時代)準優勝、2012年「からくわ丸」第3位と辛酸をなめてきた。中成年会に対して雪辱を果たすため、大沢青年部に連合を申し出たことが事の発端。来年度は連覇をかけて、中成年会のレギュラーメンバーとぶつかるとは必至だ。【参番隊/加藤】



カラット企画 大島ピクニックに参加

10月6日(日)、唐桑総合型地域クラブカラット主催の“ピクニック@「緑の真珠」大島」にからくわ丸から8名(学生部隊5名含む)が参加した。参加者は幼稚園児からお年寄りの方まで総勢28名。フェリーではお決まりのカモメにかっぱえびせん!!!子どもたちも大人たちも楽しんでいた。語り部の方に案内していただきながら、みちびき地藏や大島神社、亀山を歩いて巡った。道中は子どもたちと遊びながら歩き、亀山山頂に登るころにはへとへとだったが、山頂には我が町唐桑を一望できる絶景スポットがあり、近いようで遠い大島の魅力を堪能した。【参番隊/岡崎】

八瀬・台地区まち歩きに参加

10月19日~20日、市主催の八瀬・台地区(旧市内)まち歩きに参加しました。高校生団体底上げyouthの高校生や八瀬の若者なども参加。行ったことのない八瀬でしたが、実際に歩いてみるとここにしかない自然の豊かさやそこに住む人々の文化、昔からの生活に驚きそして感動しました。川が流れていて河童の伝説も。発表会では八瀬出身のたかし君が最後にこんな素敵な言葉を残します。「この地区に生まれて良かった」私も唐桑のまちに生まれて良かったと心から言えます。自分の地元で生まれて良かったと言える若者が一人でも多くなってくれればいいですね。【参番隊/三浦】

「日本災害復興学会 2013年度大阪大会」へ参加

10月12日、関西大学にて開催された復興学会に参加。復興人材をテーマとした分科会にて岩手県、宮城県、福島県の被災地の中で地域復興への取り組みを行う外部(Iターナー)内部(Uターナー、内発的に取り組みを行う地域住民)が一堂に会した。それぞれが活動報告、交流することにより被災地域の現状を共有することが目的。気仙沼からは、気仙沼まちづくり支援センター塚本センター長、加藤、からくわ丸尾形、そして仮設住宅居住者の代表として気仙沼市唐桑町より馬場国昭氏がゲストとして登壇し発表。今大会では今までのような外部支援者の話だけでなく、被災地で活動・活躍する地域住民の方々の心境や今後の展望など多くの生の声を聴くことが出来、大変なことになるものでした。目的としていた現状の共有・交流によりまた多くの繋がりが得られ今後繋がる大変有意義な大会参加でした。【参番隊/尾形】

松園自治会「ふれあいの集い」講演

12月8日、松園地区自治会主催「ふれあいの集い」にて講話して参りました。まず初めに加藤より昨年同集いで講話した元事務局の近況報告を行いました。その際、サプライズで宮越が登壇。次に、岡崎と立花が「唐桑づくりへの想い」というタイトルで講話を行い、自身が活動に携わるようになった経緯やそのモチベーション、唐桑のまちの魅力など笑いを織り交ぜながら話しました。岡崎は「よそもの」として、立花は地元の「ばかもの」として、それぞれの視点で唐桑を語り、地元の方々にお褒めのお言葉を頂きました。講話後は、住民の皆さんとカボチャ粥を食べながら交流会を行い、地元の方々や歌や踊りを披露したり、意見交換や世間話を華を咲かせ楽しみました。今回、このような集いに参加でき、又、地元の方々の前で講演出来た事は、凄く気持ち良かったですし、貴重な体験だったと思います。今後もこのように地元の方々とのふれあえる機会には、参加したいと思えますし、どんどん増やして行きたいと思いました。【総大将/立花】



ルーキーズサミット “40年前の唐桑の奇跡” 矢部顕氏

11月24日、わかものがまちづくりについて考える場「からくわルーキーズサミット」が洗心会事務所の会議室にて開催されました。今回のゲストはNPO法人「むすびの家」理事である矢部顕さんです。矢部さんは洗心会初代理事長を務めた故鈴木重雄さんと親交があった方で、1973年に鈴木さんが立候補した唐桑町長選挙の際にも駆け付け、応援した1人です。そのご縁から今回、洗心会から会場を提供して頂き、矢部さんから鈴木さんの事、選挙当時の様子など貴重なお話を聴く事が出来ました。「あり得ない奇跡が起こった」と矢部さんは繰り返します。なぜ東北の小さな漁師町の選挙がこの様に語られるのか?それは鈴木さんがハンセン病の快復者である事を公表した上で、選挙を戦った事にありました。当時の



ハンセン病に対する偏見・差別は根強いものでしたが、唐桑の人たちは鈴木さんを受け入れ、町を二分する程の選挙となりました。惜敗したものの40年前のそれは今も語られるまさに奇跡だったのだと感じました。それから時は経ち、再び鈴木さんのご縁がきっかけでからくわ丸の活動がスタートしました。約半世紀前から始まった奇跡と今なお続くご縁に感謝した今回のサミットでした。【参番隊/金野】(写真:当時の新聞を片手に語る矢部氏)

からくわ丸忘年会×GIGI30周年

2013年も終わりに近づいた12月25日に我々からくわ丸は東京・広島から大学生も参加し日頃お世話になっている地元の方をお呼びして感謝を伝えると共にGIGIで忘年会を行った。やはり思う事がある。色々な方が来て酒を交わしながら色々な話をしていると「愛されている」と。また2013年はGIGIも記念すべき30周年だ。「GIGI大漁旗」をプレゼントしたときのマスターと奥さんの瞳から光るものがあった…。もらい泣き！今年もありがとうございました！また来年もよろしくお祈りしますと誓った25日は、寒く灯りのない真っ暗な唐桑の中で煌々と光り続け燃え上がっていた。次回へ続く…【武番隊/吉田】



からくわ丸大学生チーム（学生部隊・広島部隊）活動報告

冬休み学び教室 広大生恒例の参加！

12月25日から27日まで気仙沼市教育委員会主催の冬休み学び教室が開かれた。今回は唐桑中学校を会場とし、小学生約20名、中学生約70名が参加した。夏に引き続き、学習相談員・支援員として、中内、内田、そして広島大学の学生4名が子供たちの学習を支援した。子供たちは冬休みの課題を持ち寄り、熱心に取り組んでいた。特に、高校受験を控えた中学3年生の集中力は高く、子供たちの熱心に勉強する姿を間近で見ることができた。最初はお互い緊張した様子であったが、すぐに打ち解け、勉強もはかどった様子であった。休憩時間になると、子供たちは大学生に積極的に話しかけ、一緒に遊んで楽しみ、とても元気な姿を見せてくれた。また、普段小中学生たちと交流することのない大学生にとって、この学び教室は「交流する」という面でもとても貴重な経験となった。これからも、この活動を通して、話したり一緒に楽しんだり、より深い世代を超えたコミュニケーションを図ってきたい。【広島部隊/大橋】

GOTEN グッズ販売 牡蠣祭り

11月17日「リアス牡蠣祭り唐桑」に参加させてもらい、GOTEN シリーズの出店や各ブースのお手伝いを行いました。様々な方が来てくださり、自分たちの活動にも興味を持ってくれたり、唐桑御殿のグッズに興味津々の様子でした。途中、大沢青年部の方が牡蠣祭りに来ており、なんと！そのまま私たちの販売のお手伝いをしてくれました！今回改めて、人との繋がりを認識出来た良い祭りだったと思います。【総大将/立花】 ホヤぼーやとコラボ→



その他

10月30日 地元学の提唱者吉本哲郎氏が来唐。
11月5日 リアス唐桑食と地域の絆づくり協議会の先進地視察に参加。盛岡の直売所や道の駅など。
11月11日 中越の稲垣文彦氏、仙台の紅島晶子氏らが来唐。拠点「ホーム」にてインタビューを受ける。
11月19日 上記の復興学会復興人材による交流会を唐桑にて実施。御崎の遊歩道を尾形、加藤が案内。

東北のおもてなし〜とうほくほくほく〜開催

11月28日、「東北のおもてなし〜とうほくほくほく〜」という東北PRイベントを大学生向けに初めて広島で開催した。昨年度、1年大学を休学し唐桑でボランティア活動した中内と仙台にてボランティア活動した徳田の2人の講演会と唐桑料理を参加者に振舞った。料理を食べ和む参加者たち。「若者の力」と「唐桑の温かさ」を力強く話す中内。「被災地の歩みから生み出された希望」を熱く話す徳田。そんな沢山の思いが会場を包み、参加者たちも真剣に耳を傾けた。このイベントを通して大学生が東北に興味を持ってくれたら嬉しい。これからも東北の魅力は広島に根付いていくだろう。【広島部隊/徳田】



大盛況！早稲田祭で唐桑を発信

11月2日、3日の2日間、早稲田大学で開催された学園祭にからくわ丸が出席。東京で「展示」をメインにからくわ丸を発信していくのは、今回が初めての試みであった。「ふるさとを考える〜唐桑を一例として〜」をテーマに、東京



の学生中心で展示品の準備を進めていった。からくわ丸設立から現在の活動の紹介など、力を入れて作品を作り上げた。当日は代表立花淳一と吉田和典も唐桑から上京し、多くの人で大盛況となった。大漁旗などの装飾で教室の印象も大きくなり、多くの人を惹きつけることができた。からくわ丸のメンバーは来場者との交流で、多くのことを発信していった。それと同時に、来場者からも多くの感想を頂くことができた。今後の活動に生きる一大イベントであった。【学生部隊/吉野】



「なぜ唐桑」次期代表選挙！東京にて合宿

11月9日・10日に、新宿オリンピックセンターにて合宿を行いました。2日間をかけて、様々なコンテンツを実施。「なぜ唐桑で活動しているのか？」を改めて考える時間では、自分の人生のルーツを交えて話す中で、感極まって涙するメンバーも。今後の活動について楽しくワークショップでアイデア出しをしたり、次期代表を決める大事な選挙も行いました。メンバー内の仲も深まり、有意義な合宿となりました。【学生部隊/田中】

都内物産展で唐桑PR

12月7日「文京ボランティア・市民活動まつり2013」に出展。大唐桑茶やストラップ、ふかひれスープなどの気仙沼・唐桑の物産品を販売しました。様々なボランティア・市民活動団体の活動報告やブースもあり、他団体やお客様と交流することで気仙沼や唐桑、からくわ丸のPRができました☆

【学生部隊/木村】

東京&広島発 MERRY KARAKUWAS 3年目！

12月22日、唐桑の燦々館にて約80人もの児童が集まったクリスマスイベントを広島部隊と協働で行いました！

今年は「繋がり」をコンセプトとし、第1部では地元の方の協力で餅つきや将棋崩し、松ぼっくりツリーやドッチビーを行いました。第2部では、違う小学校の児童同士がコミュニケーションをとれる場となるよう自己紹介ゲームやクイズを行い、チームごとに盛り上がりました！スペシャルイベントの大道芸では会場にいるすべての人がキラキラした目で見ている、魅了されている様子でした。第3部では唐桑にゆかりのあるプロのアーティストが描いたメカジキの絵の周りに、児童が思い思いにデザインした魚の写真立てを貼りつけて一つのアートとなり拍手喝采！子供たちも大喜び！最後にみんなでクリスマスソングを合唱し笑顔溢れるイベントになりました。今後このイベントが児童にとって何かのきっかけになればと思っています。【学生部隊/齋藤】



(↑集合写真：地元の中高生がスタッフとしてお手伝いに来てくれました！)

からくわ丸の活動を応援してください。よろしくお祈り致します。info@karakuwamaru.net

【お振込先】

ゆうちょ銀行 店番:818 科目:普通

口座番号:0045788

口座名義:カラクワマル カラクワデザイナーズリーグ

「まるくわ新報」vol.10

編集・校正 事務局 加藤拓馬・岡崎真弓

